

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	Ⅰ 地域課題への取組						
	地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	防災に向けた地域の支えあいコミュニティ形成	5月11日	なにわ区ラボ『最新ボウサイ事情』開催	地域コミュニティで取り組む防災活動についての勉強会。尼崎市の私立高校が地域住民を巻き込み開催する防災イベント「カエルキャラバン」の紹介や、大阪市立大学講師による最新事情の紹介。また、防災意識の向上につながるすごろくやカードゲームなども紹介し、防災を学びながら人とのつながりをつくるアイデアを学ぶきっかけとした。 (左から:会場全景／事例報告のようす／防災ゲーム紹介のようす)   	12名参加。 内訳は、地活協会長、役員、防災リーダー等。アンケートでは、防災ゲームについて「将来的に地域での活動の参考にしたい」という意見があった。
				7月15日発行	広報誌なにわ区ラブで特集『まもる! 浪速区』	なにわ区ラボ『最新ボウサイ事情』の開催報告のほか、各地活協と区役所の取り組み「避難所開設・運営訓練」等を紙面で紹介。 (左から:表紙／防災を特集した中面／浪速区のヒーローに取材した最終面)   	5000部発行。 (区内外43施設と区内小中学校生徒に配付。)
			既存の事業のブラッシュアップと活動の充実	6月15日	なにわ区ラボ『おしえてとなりの食事サービス』開催	「高齢者食事サービス」事業について、実施地域のスタッフの情報共有を目的とした勉強会。各地域の会場風景・食事メニュー・レクリエーションの様子を写真で紹介して特徴をつかみ、後半のグループディスカッションでは、担い手不足などの課題解決や運営の工夫などについて意見交換を行った。 本企画の実施に向け、まちづくりセンターの支援員が各地域の食事サービスで聞き取りをもとに、浪速区社会福祉協議会の担当者も交えた打ち合わせを行った。また、区役所保健福祉課から衛生講習の案内を加えるなど、「高齢者食事サービス」に関わる関係各所と連携しながら開催した。 (左から:各地域の写真展示／ディスカッションのようす／各テーブルの発表)   	39名参加(食事サービスを実施する全9地域から参加) 「他地域のボランティアスタッフとの情報交換ができ参考になった」との意見が多数あったほか、後日衛生講習会を実施した地域もあった。
	法人格の取得						

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
Ⅱ つながりの拡充						
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	マンション住民に対して地域活動の周知と参加を促す取り組み	6月～	区内分譲マンションのデータベース作成	インターネット上の不動産データベース等を元に、区内の分譲マンションの棟数、場所、管理状況、戸数等をデータ化した。	約50棟の分譲マンションのリストが完成し、4地域に特に集積していることが明らかになった。
			7月～継続中	分譲マンションへの住民アンケート実施	データベースから50戸以上の分譲マンションを中心に22棟をピックアップし、1棟ずつ訪問するなどしてアプローチを行った。管理会社や管理組合に対してアンケート実施を依頼し、10棟で実施した。依頼の方法については、宅地建物取引業協会の浪速地区長へのヒアリングを内容をもとに方針を立てて行った。 アンケートでは、マンション住民の地域活動への参加状況や意識について調査。調査票には浪速区まちづくりセンター発行の「なにわ区ラブ」「地活協パンフレット」及び浪速区報「なでしこ」などを同封し、情報発信の機会とした。 (写真左から:調査票と同封物/回収箱/掲示のようす) 	実施依頼22件、実施10件。配付数928枚に対して、回収数177枚(回収率19%)であり、現在集計作業中。 一部の協力的なマンションでは、避難訓練の告知や防災マップの掲示が実現した。
			8月25日	なにわ区ラボ『地域とマンション』開催	マンションコミュニティについての勉強会を開催。まず共同住宅が95%という浪速区の住宅特性を形態、居住年数などから把握したのち、平成25年度実施の地域課題調査から地域活動への参加意欲を分析した。 次に、町会と防災勉強会を行うマンションと、子育て交流会を実施するマンションからの活動報告を行い、近畿大学講師からコメントと解説をいただいた。 (左から:事例報告の様子/近畿大学講師による解説) 	18名参加。 マンション増加を課題ととらえる地域役員を対象に企画したが、他区のまちづくりセンターからも多数参加があり、このテーマへの関心の高さがうかがえた。
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】	ボランティアスタッフの運営支援	5月～	ふれあい喫茶、食事サービス事業のリーダー制の導入とリーダー会議運営支援	従来は女性部長を中心に運営していたふれあい喫茶と食事サービス事業を、組織的・効率的な運営体制とするため、班による運営と、情報共有のためのリーダー会を提案し。リーダー会議のファシリテーションを通して、その場で意思決定する形態への移行を試みている。	日東地域活動協議会 リーダー会では、メニューや広報の工夫について積極的な提案へ改善がみられる。
	地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】	地域活動協議会への企業参画	4月～	地元企業の地域活動協議会への参加	以前から地域活動に参画していた地元印刷会社が協議会の構成メンバーに加わった。すでに協力体制は整っていたが、こうした企業との連携をメンバー全員で共有するものとして、新たな構成団体として歓迎されている様子。	立葉地域活動協議会 地元印刷会社が今年度より構成団体として参画。事業告知用ポスターの印刷や、会場提供などで貢献している。
	地域公共人材の活用					
Ⅲ 組織運営						

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	運営の自立支援	通年	運営委員会の支援	地活協の運営委員会に出席し、定数、議事の進行、議事録作成などの支援をおこなっている。	全地活協で実施
			通年	運営委員の役割の明確化	地活協の役員の役割を整理し、円滑な運営ができるよう役員間の調整をおこなっている。	全地活協で実施
			7月15日	地域活動協議会会長会の実施	浪速区役所市民協働課とともに地活協の会長会を開催。9割が共同住宅という浪速区での地域活動の裾野の拡大には、マンション住民の参加が欠かせないという認識を共有し、アンケートと情報発信を同時に行うことについて方針を説明したのち意見交換を行った。また、地活協パンフレットの完成を報告し、各地活協での活用を呼びかけた。	全11地活協の会長に呼びかけ。代理人を含め全地域から参加。
	会計事務の適正な執行	役員の自立的な会計状況の把握	5～6月	決算書類の広報支援	昨年度末の決算報告を地域に開示するため、決算報告書の作成を支援。地域ごとに発信方法を検討し、地域の掲示板や会館での掲出、ブログ、広報紙への掲載などを行った。	
		自主財源の獲得支援		民間助成金の獲得支援	地域のニーズのヒアリングをもとに、関連性のある民間助成金の選定、要綱の手配を行ったのち、申請書類作成を支援。	浪速地域・地域活動協議会
	多様な媒体による広報活動	自立的な広報活動への支援	通年	フェイスブック、ブログ等電子広報媒体の作成支援	事業の告知と報告という両面から、情報発信の必要性を説明し、作成・更新方法をレクチャーしている。更新にかかる担当者(担い手)探しの支援も実施。	11地域中9地域で公開中。
			通年	地活協だより等、紙媒体での広報支援	「地活協だより」のひな型を各地活協へ展開し、担当者に作成方法をレクチャーしている。担当者(担い手)不在の場合は、探しかたのアドバイスも。行事予定から決算報告など、情報の取捨選択についても提案している。	
		地域活動協議会の認知度向上と地域への愛着づくり	5月から毎月	浪速区だより「なでしこ」での地活協情報の発信	地域活動に関心のない層にもその存在を意識し、関心を持ってもらうことを目的に、コーナー「なにわ区ラブ通信・なにわコレ?」を企画。毎月、各地活協の事業から1枚の写真をピックアップし、活動のようすや地域の特徴を伝えている。	
			7月公開	浪速区まちづくりセンターホームページ開設	区広報に掲載した各地活協の取り組みや、情報紙「なにわ区ラブ」など、さまざまな媒体でまちづくりセンターが発信してきた情報、各地活協のブログにもアクセスできる「浪速区の地活協のポータルサイト」として開設した。 http://mcnaniwa.jimdo.com/ (トップページのイメージ)	 各地活協のブログや基礎情報、「なにわ区ラブ」のレポートや「なにわ区ラブ」の電子版などを閲覧可能。

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
			7月24日発行	地活協パンフレット「知ってます? ご近所のチカラ」発行	浪速区内で取り組まれている地域活動と、その背景をイラストで紹介したパンフレットを制作。分野ごとに事業を例示し、事業年度のスケジュールについても掲載し、地活協という団体のアウトラインが理解できる内容をめざした。 	6000部発行。 うち1000部は分譲マンションへのアンケートに同封。各地活協にも提供している。
IV 区独自取組						
(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの。設定している具体の取組を右欄に記載)		地域の歴史や資源を発掘・普及することなどを通して、世代間交流の促進を支援	通年	①「なにわ区メモリーズ」の実施 ②浪速区民まつり「じもと検定なにわQ」の企画	①地域の古地図を見ながら高齢者の記憶をヒアリングする。ふれあい喫茶などで行うことを想定している。 ②なにわ区の歴史、文化、特徴などをクイズ形式にして「なにわ区民まつり」で来場者向けに実施する。	①8月末時点では未実施である。 ②8月末時点ではクイズの設計中(実施は9月)。

※具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照